

	近江八幡市総合介護市民協議会 高齢者福祉部会
開催日時	令和8年7月16日(木) 13:30~15:05
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	【出席委員】 ◎塚本委員、○藤田委員、三崎委員、坂井委員、中村委員、石黒委員、大西委員、谷委員 【欠席委員】 梅村委員、高橋委員 【事務局】 長寿福祉課、介護保険課
会議の概要	1. 審議事項 ①第9期総合介護計画における評価及び課題の整理について ・資料に基づき、第9期計画最終年度として3年間の実績と今後の方向性について説明。 ・「第10期計画の方向性」が見直しとなっている事業について、詳細説明。 〈委員からの意見等〉 ・商助については、福祉的政策の中で何をしようとしているのか市民への説明が必要。 ・軽度生活支援サービスについて、利用がないことについて実態把握が必要。他市町の事例も参考に次期計画に向けて検討を。 ②第10期総合介護計画策定について ・高齢者雇用等調査の結果について、報告書を基に説明。 ・第10期計画の体系(案)について、第9期計画を踏襲しつつ、国の基本指針を反映する予定である旨説明。 〈委員からの意見等〉 ・高齢者雇用については、国の助成金制度の周知不足の可能性あり。商工部局やHWと連携し制度周知を図ってはどうか。 ・回答数は少ないが、「再雇用の意向が低い」「商助の認知度が低い」等の結果は重要課題であり施策に反映するべき。 ・商助について、企業のブランドイメージ向上の視点からのアプローチが地域貢献活動への参加促進につながる可能性がある。 ・体系(案)については、全体として国の基本指針から漏れがないかの確認と市の実情に合わせた内容精査が必要。

③第10期計画策定に向けた事業見直しについて

- ・介護用品支給事業に係る事業見直しについて、今年度実施した負担感や事業効果を把握するためのアンケート結果について報告。
- ・国から制度の縮小・廃止も含めた見直し検討の通知が出ていることから、市助成制度も見直しが必要。事業継続を前提とした見直し案を提示し、委員からの意見を聴取。第10期計画の方針が未確定のため、次回の部会でも継続審議。
- ・「高齢者生活支援サービス」における事業見直しについても説明。

<委員からの意見等>

- ・要介護度に応じて助成額を細分化するのは事務手続きの煩雑化、CMの負担増への懸念あり。申請の電子化希望。
- ・助成金額を全額使っていない人の割合を見ると、見直しの影響は少ないと思われる。
- ・経済的に厳しいというアンケートの意見もある。
- ・アンケート結果を踏まえても、見直し案はそれほど無茶な内容ではない。

2. その他

- ・次回の部会は、9月14日（月）に開催予定。
- ・市予算要求時期に合わせて10月開催予定を前倒し。